

## 薬事委員会 WG 記録

日 時：平成 29 年 2 月 6 日(月) 17 時 30 分  
場 所：薬剤部・カンファランス室  
出 席 者：安田(浩)、西垣、諏訪、山内、山口、名和

### 協議事項

#### 1. 院外処方薬品の採用・中止数について

薬事委員会 WG が 2014 年 7 月から開始され、全体で院外採用品目数は 30 品目減少したことを報告した。更に品目数の適正化を行う必要があることから、次回の薬事委員会で全採用品目を対象に長期間未使用の薬品の見直しを行うこととした。

#### 2. 院外処方申請品目の採用について

新たに申請のあった 4 品目(デシコビ配合錠 LT・同 HT、ミケルナ配合点眼液、エスクレ注腸用キット「500」)について協議され、採用を承認した。

上記品目の採用に伴い、申請科より HIV 治療剤のツルバダ配合錠の採用中止提案があったため、採用中止とした。また、血液内科へ HIV 治療剤、眼科へ緑内障点眼剤のそれぞれの採用見直しの依頼を行うこととした。

#### 3. 院内緊急購入申請品目について

新たに申請のあった 7 品目(プレジコビックス配合錠、エムプリシティ点滴静注用 300mg、コパキソン皮下注 20mg シリンジ、プラノバル配合錠、キックリンカプセル 250mg、サンリズムカプセル 25mg、リピディル錠 80mg)について協議され、使用用途や必要性について確認した。

### 報告事項

#### 1. 院外処方申請品目の中止について

前回の WG で承認した皮膚白癬治療剤の採用に伴い、2 品目(エンペシド外用液 1%、ハイアラージン軟膏 2%)を採用中止とした。

### その他

#### 1. 院外処方せんにおける疑義照会簡素化プロトコルの運用について

保険薬局から提案のあった院外処方せんにおける疑義照会簡素化プロトコルの運用案について説明した。委員より本運用を実施する際は、変更調剤を行った場合の保険薬局からの文書による変更内容を、電子カルテの SOAP 欄に見易く表示して欲しいとの意見があり、今後検討することとした。

次回薬事委員会 WG の開催日時を、平成 29 年 3 月 6 日(月)とした。